

大野市総合計画・総合戦略推進会議 第2回移住定住部会 議事メモ

日時 令和4年9月1日(木) 午前10時～12時

場所 結とびあ 201・202号室

1 開会

事務局から開会

2 部会長あいさつ

- ・前回の会議では多くの意見が出て、市側も参考になったと思う。
- ・市長は「もっと大野が好きになる」と掲げている。転出を減らし、人口減少を防ぐためには市民に大野を好きになってもらうことが大事。
- ・市民の悪い癖として、大野の好きなところを言わずに、悪いところを子どもに伝えて、転出を助長してしまう傾向にある。
- ・本日の議論のテーマは、今住んでいる中高生にも PR できる方策になり得るので忌憚のないご意見をいただきたい。

3 協議事項

- (1) 第1回会議の振り返り …資料1 ・ 資料2
事務局より説明

(2) 意見交換

○企業への支援について

委員: 前回、起業や働き先について結構意見が出ていた。移住者に来てもらい、住み続けてもらうには仕事はかなり大事。企業が自社ホームページで色んな人に来てほしいと呼びかけているのをよく目にする。企業の人とお話ししたときに、呼ぼうとする中で、市の支援が欲しいという話を聞いた。前回、「就職の移住者枠」という意見があったが、すごく良いと思う。企業としても支援をしてもらえるのであればありがたいと思う。前回、企業の PR 動画をつくるとか、企業の体験ツアーなどの意見が出た。移住者も仕事を心配すると思うので、働き手を増やすためにも、報告書のなかにそういった要素を入れると良い。

○移住ターゲットについて

委員: 情報発信のところ、「ターゲットを広げることでコンセプトが定まらない」とあるが、何を使って情報発信するのかが大事。ホームページなのか、SNS なのか、市報なのか、媒体に合わせてターゲットを変えること

も一つ。ターゲットを絞りすぎると知名度が上がらないという面もあるが、広げすぎると埋もれて分からない。例えば、SNS であれば 20～40 代とか、媒体ごとのターゲットを決めると良い。

あと、「インセンティブを設ける」とあるが、小田原市の例で「市民が移住者を紹介すると商品券がもらえる」というのは良いと思う。例えば、子が帰ってきたら親が何かもらえるとか、そういうのがあると個人的には嬉しい。

また、「インフルエンサーを活用する」というところで、インフルエンサーの選定が難しいと思う。結果に響かない可能性もある。活用するのであれば、どういった人を選ぶかということが重要になる。最近、ツイッターで、アルトゥルさんという日本推しのラトビア人の方がいる。その人が投稿する「日本のあるある」が面白い。先日、武家屋敷旧田村家の風車を「かわいい」と言ったらバズって、ツイッターのニュースにもなった。移住とは少し違うかもしれないが、かなり反響があった。インフルエンサーを使うのであれば、芸能人やモデルとかではなく、そういった層を狙っていくのも一つ。

委員：シニアを移住ターゲットにすると介護保険や医療保険など、行政の負担が増える可能性がある。ターゲットは広げ過ぎず、現状の 20～40 代に注力すると良い。

○ワーケーションについて

委員：コロナ禍以降、都会ではワーケーションを活用した仕事のやり方が出てきている。大野市でワーケーションをする人は増えているのか。

担当課：福井県はワーケーションがほとんど進んでいない。ワーケーションは温泉地やリゾート地など、ゆったりとした環境がある地域が強い。大野で何かあるかという点、ゆったりとした自然はあるが、そこで過ごせる、ゆったりとした施設が不足している。そういった施設が整備されている地域がワーケーションに向いている。ワーケーションには 2 種類あって、フリーランス型と企業研修型がある。前回、企業研修型の誘致という意見も出ていた。

委員：以前、商工会議所に企業から「ワーケーションができるか」という問い合わせがあった。滞在期間は 10～20 日間で、電話とデスクがある環境を提供してほしいということであったが、貸し出せる場所がなかった。県ではワーケーションする場合の滞在費に対する補助があったかと思う。ワーケーションから移住につながる可能性もあると思う。

委員：ワーケーションと、田舎暮らし体験や大野暮らし交流会をセットで提供できると、より深い体験になるかと思う。

委員：市で整備したサテライトオフィスを有効に活用すると良い。

○企業誘致について

委員：移住者にとって働く場所は大事と思う。産業団地での企業誘致はどのような状況なのか。

事務局：モンベル以降の進出企業の情報は把握していない。

○市役所での迎え入れについて

委員：大野市に移住してくる人は何人くらいいるのか。

担当課：昨年度の市の支援を受けての移住実績でいえば、17世帯、33人。

委員：移住は「人が人を呼ぶ」というところがあるかと思うので、市役所の窓口で転入してきた人に働きかけができないか。例えば、市報で「今月の移住者」というようなコーナーを設けて、窓口で掲載を働きかけることができないか。もちろん受けるかどうかは本人の自由。大野市に迎え入れられている感じが伝わると思う。

委員：勝山市の市報には移住者紹介が掲載されているときがある。

担当課：市役所の窓口では、転入者に対して移住支援などを載せたチラシを渡している。以前は生活に役立つパンフレットなどをまとめて風呂敷に包んで渡していた。

4 ワークショップ ……資料3

事務局より進め方を説明した後、検討テーマに沿って意見交換を行った。(当初、2班に分かれて行う予定であったが、欠席者(途中退席者)がいたことから1班で行った。)

<検討テーマ>

○移住者の生活環境を向上させる方策(仕事、住まい、子育てなど)

※委員からの意見は別添「ワークショップ意見一覧」参照

5 その他

事務局から事務連絡

○第3回会議：10月4日(火)午後1時30分～・同会場

6 閉会

事務局より閉会